

## 2021-22 年度 R I 会長メッセージ



**SERVE TO CHANGE LIVES**

「奉仕しよう  
みんなの人生を豊かにするために」

**2021-22年度RI会長  
シェカール・メータ**

次年度のR I 会長はインド、カルカッタ-マハナガル・ロータリークラブのシェカール・メータさんです。本来、国際協議会は米国フロリダ州オーランドで行われる予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で本年度はWEBでの開催となりました。2月1日から11日までの11日間、午後11時からと午前11時から、それに加え午後2時からのセッションがありました。



メータ会長はロータリーの原点である「**超我の奉仕**」というロータリーの標語に大きな感銘を受け、常に人生の北極星としてこられました。この言葉は、人々を思いやり、分かち合うことの大切さを教えてくれました。自身にとって奉仕とは、自分よりもほかの人のことを先に考えることです。

奉仕を实践し、奉仕に目覚めたことで単なるロータリークラブ会員から、ロータリアンになった。とご自身の経験を話されました。奉仕にはロータリアンのDNAがある。

ほかの人のために生き、世話をし、奉仕することで誰かの人生を豊かにすることは、自分の人生の最高の生き方です。アルバート・アインシュタインが言ったように、「誰かのために生きてこそ、人生には価値がある」のです。と「**奉仕は誰かの人生ではなく、自分の人生も豊かにする**」と力説されました。

奉仕のニーズはさらに高まった今日、来るロータリー年度には、人々のために奉仕し、その人生をより豊かにするために援助していただけるよう、切にお願いされました。この理由から、2021-22年度の私たちのテーマは、

**奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために (Serve to Change lives)**

と次年度R I テーマを発表されました。

その奉仕活動をよりインパクトのあるものとするために、過去 17 年間、120 万人と変わらない国際ロータリーの会員数を 130 万人にすること「**each one, bring one**」つまり、**ひとりが一人を会させる**という考え方で会員増強を訴えました。公共イメージの向上に伴って会員増強されるという考え方で「**ロータリー奉仕デー**」の実施を全地区とロータリークラブに求めました。

地区のロータリアンおよびローターアクターと目標を分かちあい、「**もっと行動し、もっと成長する**」ための意欲を喚起するという大きな役割を担います。「もっと行動し」とは、より大きなインパクトをもたらす奉仕プロジェクトを意味します。「もっと成長する」とは、会員を増やし、参加者の基盤を広げることを意味します。これを全てのロータリアンが実行すれば、そのそれぞれが「**変革者**」となり、**新たにロータリアンとなる人の人生を永遠に変える**ことになるのです。

次年度の焦点の一つは「**女子のエンパワメント**」です。つまり、**女性の潜在的能力を引き出し活躍の場を提供する**ということです。ロータリーの中核的価値観の一つは「**多様性**」です。ロータリーの D E I（多様性、公平さ、開放性）に対する信念を表した公式声明もあります。多くの場合、女子は不利な立場（差別・不利益・機会の欠如）に置かれることが多く、私たちが女子のエンパワメントに取り組むことが重要です。ロータリーは全ての子どもに奉仕しますが、特に「**女子**」に焦点を当てます。世界各地で女子は多くの問題に直面しており、ロータリーはこうした女子が抱える問題に取り組み、それを和らげるように導くことができます。



第 1 回本会議「次年度のビジョン」より



第 2 回本会議「ロータリーの成長」より



第 3 回本会議「ロータリーの対応」より